

平成28年8月3日

幹事長談話

東京都議会自由民主党

幹事長 高木 けい

本日、北朝鮮は、我が国を含む国際社会が強く自制を求め中、弾道ミサイルの発射を強行し、日本海上のわが国の排他的経済水域に落下した。

ミサイルの発射は、一連の国連安保理決議等に明らかに違反するものである。本年1月の核実験及び同年2月のミサイル発射を受けて、制裁を大幅に追加・強化する国連安保理決議が全会一致で採択された。それにもかかわらず、その後の累次にわたる弾道ミサイルの発射に続き、今回の発射を強行したことは、極めて許し難い暴挙である。

北朝鮮は、これまでも核実験、ミサイル発射などの挑発行動を繰り返している。今回の暴挙は、北東アジア及び国際社会の平和と安全を著しく脅かすものとして断じて容認することはできない。

よって、東京都議会自由民主党は、今回の北朝鮮のミサイル発射に対し重ねて厳重に抗議し、いかなる核実験又はミサイル発射もこれ以上実施しないよう強く求めるとともに、在韓米軍への地上配備型迎撃システム「高高度防衛ミサイル（THAAD）」の早期配備を希求するものである。

政府においては、国民の安全・安心の確保に万全を期すとともに、国際社会との連携を強化し、一連の安保理決議等の確実な履行と、核、ミサイル、拉致問題の早急な解決に向けて、これまで以上に強力な外交を展開するよう求める。